

系 統	2液型エポキシ樹脂系炭素繊維シート用含浸接着剤															
特 長	1) 炭素繊維シートに対する含浸接着性に優れる。 2) 耐水性、耐薬品性、耐アルカリ性に優れる。 3) 上塗り塗料との付着性に優れる。															
用 途	1) 炭素繊維シートを用いた各種コンクリート構造物の補強工法用															
配 合 比	主 剤：硬化剤 = 2：1 (重量比)															
荷 姿	10kgセット (主剤/6.67kg、硬化剤/3.33kg)															
外 観 性 状	主 剤…淡白色揺変性液状 硬化剤…緑色透明液状 混合物…緑色揺変性液状															
可 使 時 間	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タ イ プ</th> <th colspan="2">夏 用 (S)</th> <th colspan="2">冬 用 (W)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温 度 [°C]</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>可 使 時 間 [分]</td> <td>50</td> <td>30</td> <td>60</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	タ イ プ	夏 用 (S)		冬 用 (W)		温 度 [°C]	20	30	5	15	可 使 時 間 [分]	50	30	60	40
タ イ プ	夏 用 (S)		冬 用 (W)													
温 度 [°C]	20	30	5	15												
可 使 時 間 [分]	50	30	60	40												
比 重	1.00～1.30 (硬化物)															
標 準 使 用 量	使用する炭素繊維シートのメーカー仕様による -仕様例- 目付量300g/m ² 0.8kg/m ² (下塗り0.5kg/m ² , 上塗り0.3kg/m ²) 目付量200g/m ² 0.6kg/m ² (下塗り0.4kg/m ² , 上塗り0.2kg/m ²)															
貯 蔵 保 証 期 間	12か月 (未使用、冷暗所保存)															
消 防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類															
日 本 接 着 剤 工 業 会 ノ ン ホ ル ム ア ル テ ー ヒ ト 製 品 登 録	Sタイプ：J A I A - 0 0 2 8 9 4 F☆☆☆☆ Wタイプ：J A I A - 0 0 9 6 8 8 F☆☆☆☆															
使 用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー等で被塗面に塗布し、炭素繊維シートを接着する。 4) 含浸・脱泡ローラーで接着剤を含浸させ、気泡や余分な接着剤をしごきとる。															
使 用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去) 2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 3) 可使時間内に作業を終了する。 4) 塗装間隔が7日以上となる場合は、被塗面をサンドペーパー等で処理する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。															

⚠ 注 意

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。 |
|---|